



第 100 卷 第 3 号 史学・地理学・考古学

論 説

- 清代外モンゴルのセチェン・ハン部  
における盟界画定の経緯……………朝魯孟格日勒 ( 1 )  
—— 牧地紛争に関する公文書を手掛かりに ——

研究ノート

- 雲叔玄龍……………林 晃 弘 ( 29 )  
—— 豊臣秀頼に仕えた薩南学派の僧 ——
- 荘園景観の文化財化をめぐる価値づけと地域住民……………桑 林 賢 治 ( 43 )  
—— 重要文化的景観「日根荘大木の農村景観」を事例に ——

研究動向

- ブルーノ・タウトに関する研究の動向……………北 村 昌 史 ( 67 )

紹 介

- 猪飼隆明著『近代日本におけるハンセン病  
政策の成立と病者たち』……………扈 素 妍 ( 95 )

史 学 研 究 会

京都大学大学院文学研究科内

受贈誌

(二〇一六年九月一日) -  
二〇一七年一月三〇日)

- 立命館国際平和ミュージアムだより (立命館国際平和ミュージアム) 二四—一
- 歴史研究 (大阪教育大学歴史学研究室) 五
- 二
- 信濃 (信濃史学会) 六八—九
- 経済学研究 (九州大学経済学会) 八三—一
- 経済学研究 (九州大学経済学会) 八三—一
- 二・三合併号
- 日本民俗学 (日本民俗学会) 二八七
- 日本史研究 (日本史研究会) 六四九
- 日本歴史 (日本歴史学会) 八二—一

韓民族文化 (釜山大学校韓民族文化研究所) 六〇

史學雜誌 (史學會 (東京大学文学部内)) 一二五—八

史迹と美術 (史迹美術同致会) 八六八

紀尾井論叢 (上智大学 Sapientia 会) 四

立命館文學 (立命館大学人文学会) 六四八

鹿児島経済論集 (鹿児島国際大学経済学部学会) 五七—一

経済科学 (名古屋大学大学院経済学研究科) 六四—二

東洋史研究 (東洋史研究会) 七五—二

法学家 (中國人民大學) 二〇一六—四

Annali di Ca' Foscari Serie orientale (Università Ca' Foscari Venezia) 五〇

supplemento Annali di Ca' Foscari Serie orientale (Università Ca' Foscari Venezia) 五—一

史観 (早稲田大学史学会) 一七五

米沢史学 (米沢史学会) 三三—一

史學研究 (廣島史學研究會) 二九三

岐阜経済大学論集 (岐阜経済大学学会) 五〇—一

オリエント (日本オリエント学会) 五九—一

藝林 (藝林會) 六五—二

信濃 (信濃史学会) 六八—一〇

駿台史學 (駿台史学会) 一五八

史學雜誌 (史學會 (東京大学文学部内)) 一二五—九

立命館産業社会論集 (立命館産業社会学会) 五二—二

中山大學學報 社会科学版 (中山大學學報編集部) 五六—一

中山大學學報 社会科学版 (中山大學學報編集部) 五六—二

中山大學學報 社会科学版 (中山大學學報編集部) 五六—三

鹿児島経済論集 (鹿児島国際大学経済学部学会) 五七—一

立命館法學 (立命館大学法学会) 三六七

史學 (三田史学会) 八六—三

日本史研究 (日本史研究会) 六五〇

日本歴史 (日本歴史学会) 八二—二

考古学報 (中国社会科学考古学研究所) 二〇一六—三

アジア研究所所報 (亜細亜大学アジア研究所) 一六四

中央研究院 歴史語言研究所集刊 (中央研究院歴史語言研究所) 八七—三

- 人文地理(人文地理学会) 六八一—三  
 經濟研究(一橋大學經濟研究所) 六七—四  
 神道宗教(神道宗教学会) 二四二—  
 神道宗教(神道宗教学会) 二四三  
 國家學會雜誌(国家学会事務所) 二二九—  
 九・一〇  
 信濃(信濃史学会) 六八一—一  
 歴史(東北史学会) 一二七  
 法学家(中國人民大學) 二〇一—六—五  
 日本学刊 JAPANESE STUDIES (中国社  
 会科学院日本研究所中華日本学会) 二〇  
 一六・四  
 岡崎市史研究(岡崎市教育委員会) 三五  
 史學雜誌(史學會(東京大學文学部内))  
 一二五—一〇  
 茨城大学文学部紀要 人文コミュニケーション  
 ション学科論集(茨城大学文学部) 二  
 ○  
 茨城大学文学部紀要社会科学論集(茨城  
 大学文学部) 六一  
 日本史研究(日本史研究会) 六五一—  
 日本歴史(日本歴史学会) 八二三  
 茨城大学文学部紀要社会科学論集(茨城  
 大学文学部) 六一  
 茨城大学文学部紀要 人文コミュニケーション  
 ション学科論集(茨城大学文学部) 二  
 一  
 文化史學(文化史学会) 七二  
 社会經濟史學(社会經濟史学会) 八二—三  
 長崎大学教育学部紀要(長崎大学教育学  
 部) 二  
 立命館史學(立命館史学会) 三七  
 史迹と美術(史迹美術同致会) 八六九  
 考古学報(中国社会科学考古学研究所) 二  
 ○一六—四  
 CHRONOS クロノス(京都橘大学女性歴  
 史文化研究所) VOL.三・八  
 國史學(国史学会) 一一〇  
 人文學(同志社大学人文学会) 一九八  
 美術研究(東京文化財研究所) 四一九  
 大美術(大神神社社務所) 一一三—  
 海事史研究(日本海事学会) 七三  
 哲學研究(京都哲學會) 六〇〇  
 經濟論究(九州大学大学院經濟学会) 一五  
 六  
 日本学刊 JAPANESE STUDIES (中国社  
 会科学院日本研究所中華日本学会) 二〇  
 一六・五  
 文化(東北大学文学会) 八〇—一・二  
 史學雜誌(史學會(東京大學文学部内))  
 一二五—一  
 信濃(信濃史学会) 六八一—二  
 仏教美術研究上野記念財団助成研究会報告  
 書 研究発表と座談会(代表 西上  
 実) 四三  
 東方學會報(東方学会) 一一一  
 日本史研究(日本史研究会) 六五二—  
 立命館法學(立命館大学法学会) 三六八  
 韓國民族文化(釜山大學校韓國民族文化研  
 究所) 六一  
 ANTHROPOLOGICAL SCIENCE (The  
 Official Journal of THE ANTHRO-  
 POLOGICAL SOCIETY OF NIPPON)  
 一一四—二 (Japanese Series)  
 ANTHROPOLOGICAL SCIENCE (The  
 Official Journal of THE ANTHRO-  
 POLOGICAL SOCIETY OF NIPPON)  
 一一四—三  
 東北亞歴史論叢 동북아역사논총(東北亞  
 歴史財団編) 五三  
 日本民俗学(日本民俗学会) 二八八  
 史迹と美術(史迹美術同致会) 八七〇  
 日本歴史(日本歴史学会) 八二四  
 國家學會雜誌(国家学会事務所) 二二九—  
 一一・一二

政治経済史学（日本政治経済史学研究所）

五八九—六〇〇

史創（史創研究会）七

アジア研究所所報（亜細亜大学アジア研究所）一六五

センター研究年報（京都大学人文科学研究所所属東アジア人情報研究センター）二〇一六

日本研究 国際日本文化研究センター紀要（国際日本文化研究センター）五四

古代文化（古代学協会）六八一—二

古代文化（古代学協会）六八一—三

The Journal of Territorial and Maritime Studies (Northeast Asian History Foundation) 四—一

東洋史研究（東洋史研究会）七五—三

人文研究（小樽商科大学）一三—二

国史談話会雑誌（東北大学国史談話会）五七

桃山歴史・地理（京都教育大学史学会）五二

中央研究院 歴史語言研究所集刊（中央研究院歴史語言研究所）八七—四

信濃（信濃史学会）六九—一

人文地理（人文地理学会）六八—四

日本史研究（日本史研究会）六五—三

史學雑誌（史學會（東京大学文学部内））一二五—一二二

日本歴史（日本歴史学会）八二—五

Journal of Northeast Asian History (Northeast Asian History Foundation) 一三—二

福島大学人間発達文化学類論集（福島大学人間発達文化学類）二—一

福島大学人間発達文化学類論集（福島大学人間発達文化学類）二—二

人間発達文化学類（福島大学人間発達文化学類）二—二

## 編集後記

史林一〇〇巻二号をお届けいたします。

東洋史の論説一本、日本史と地理学の研究ノート二本、西洋史の研究動向一本、日本史の紹介一本、いずれも力作ぞろいです。

総合雑誌らしい多彩な構成となりました。

ぜひご味読ください。

先日刊行された二号と同様、本号にもお知らせを同封しましたように、史林もリポジトリへの掲載に向けて動きはじめました。

利便性や研究者のキャリア形成の今後を考慮すると、リポジトリに掲載することで史林を広くお読みいただく利点は大きいでしょう。

よう。しかし、総合雑誌として分野を越えた「通読」がなされなくなる、などの危険もあるかと思えます。電子媒体と紙媒体、両者の利点を何とか両立させていくことが、これからの史林にとって重要なことではないでしょうか。

いろいろな意見があるかと思えます。

お忙しいとは存じますが、ぜひとも来る一月二日の史学研究大会に足をお運びいただき、史林の明日を一緒にお考えいただけますたら幸いです。

（谷口良生）

## ◆史学研究会ホームページ・アドレス

<http://www.shigakukenkuyukai.jp/index.html>

二〇一七年五月二五日印刷  
二〇一七年五月三二日発行

史林 第一〇〇巻第三号（通算第五三三号）

〒100-8302 東京都千代田区千代田 1-3-1 京大文学部内

電話 (03) 753-2787

FAX (03) 753-2787

電 話 (03) 753-2787

電 話 (03) 753-2787

電 話 (03) 753-2787

電 話 (03) 753-2787

電 話 (03) 753-2787

電 話 (03) 753-2787

電 話 (03) 753-2787

電 話 (03) 753-2787

## 史学研究会大会・総会のお知らせ

左記のとおり、本年度の史学研究会大会および総会を開催いたしますので、ご参加ください。

会場は、例年と異なり、京都大学国際科学イノベーション棟（時計台の東側）となっておりますので、ご注意ください。

日 時 平成二十九年十一月二日（木）午後一時より（総会）

午後一時半より（大会）

場 所 京都大学国際科学イノベーション棟 五階 シンポジウムホール

### 公開講演

近世日本における坤輿万国全図の広がり 青山宏夫氏（国立歴史民俗博物館）

京都帝国大学附属図書館蔵書の成立 横田冬彦氏（京都大学）

史学研究会

# THE SHIRIN

or the

## JOURNAL OF HISTORY

---

Vol. C No. 3

May 2017

---

### CONTENTS

**Article :**

- CHOLMONGEREL, The Demarcation Process of the Border of Sečen Qan  
Ayimay in Outer Mongolia during the Qing Period: Based on the  
Archives of Pasture Conflicts .....( 1 )

**Notes :**

- HAYASHI Akihiro, Unshuku Genryū, a Priest of the Satsunan School  
who Served Toyotomi Hideyori .....( 29 )

- KUWABAYASHI Kenji, Local Residents and the Evaluation of the  
Registration of a Manorial Landscape as Cultural Property:  
The Case of “The Rural Landscape of Hineno-shō Ōgi” .....( 43 )

**Academic Trend :**

- KITAMURA Masafumi, Bruno Taut as a Transcultural Architect  
and Theorist .....( 67 )

**Miscellaneous :**

---

*Published*

*by*

THE SHIGAKU KENKYUKAI

*(The Society of Historical Research)*

Kyoto University, Kyoto, Japan

定価 1,200円

ISSN 0386-9369